

# エコアクション21

## 環境活動レポート

運用期間

2016年4月～2017年3月

2017年7月14日発行

2018年1月17日改定

対象範囲 本社・事務所、川崎支店



豊かな自然を未来へ引き継ぐ。

KIC

黒田興業株式会社

## 目次

1	組織概要	1
2	対象範囲	2
3	機械の処理能力	3
4	関連許認可・許可品目	4
5	中間処理フロー	5
6	実施体制	6
7	組織図	7
8	環境方針	8
9	環境目標	9
10	環境負荷の実績	11
11	環境活動計画	12
12	環境目標に対する実績と評価	13
13	環境活動計画に対する評価及び 次年度の取組内容	15
14	環境関連法規等取りまとめ	16
15	代表者による全体評価と見直し	18

## 1. 組織概要

### ① 事業者名及び代表者名

黒田興業株式会社 代表取締役 黒田 浩司

### ② 事業内容

鉄・非鉄スクラップ加工処理業、産業廃棄物処理業

### ③ 所在地

本社・事務所 〒130-0026 東京都墨田区両国四丁目38番16号  
TEL 03-3631-5145 FAX 03-3631-5140  
URL <http://www.r-kic.co.jp/>

川崎支店 〒210-0852 神奈川県川崎市川崎区鋼管通5-6-1  
TEL 044-366-3111 FAX 044-366-0442

太田支店 〒373-0826 群馬県太田市古戸町1244  
TEL 0276-38-0570 FAX 0276-38-5635

日立那珂支店 〒311-0102 茨城県那珂市向山1225-2  
TEL 029-295-2012 FAX 029-295-5409

### ④ 事業規模

法人設立年月日 昭和22年9月23日  
資本金 4,000万円  
売上高(全社) 3,321百万円(平成28年度)  
売上高(川崎支店) 1,069百万円(平成28年度)  
従業員数 61人(平成29年3月末現在)  
敷地面積 27,986㎡(全社)

内訳 本社 109㎡  
川崎 5,716㎡  
太田 10,140㎡  
那珂 12,021㎡

### ⑤ 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 古屋敷 正人  
連絡先 TEL 03-3631-5145  
FAX 03-3631-5140

### ⑥ 設備一覧(対象事業所 川崎支店)

加工処理機械 オートマチックプレス機 1基  
1,000tマウントシャー 1基  
1,250tギロチンシャー 1基  
4.5t天井クレーン(リフマグ) 1基  
7.5t天井クレーン(リフマグ) 1基  
7.5/7.5t天井クレーン(リフマグ・クラブ) 1基

重機 ショベルローダー 1台  
油圧ショベル 1台

運搬車両 15t車 1台  
10t車 1台 ユニック  
8t車 1台  
4t車 1台 アームロール

⑦ 関連許認可 産業廃棄物処分業	川崎市	許可番号 第5720038805号	有効期限 H31. 5. 31
	群馬県	第01020038805号	H30. 5. 17
	茨城県	第0821038805号	H34. 4. 23
産業廃棄物収集運搬業	神奈川県	第142038805号	H33. 4. 2
	群馬県	第01000038805号	H30. 3. 16
	茨城県	第0801038805号	H34. 5. 21
	埼玉県	第1104038805号	H30. 3. 31
	栃木県	第0900038805号	H30. 4. 30
	千葉県	第1200038805号	H31. 7. 14
破砕業(自動車リサイクル)	茨城県	第20085002198号	H31. 6. 30
	東京都	第1300038805号	H34. 3. 31
古物商	神奈川県	第452510500038号	
	群馬県	第421110130000号	
	茨城県	第401050000379号	
第一種フロン類回収業者	茨城県	第12460号	H34. 6. 22

- ⑧ 処理料金  
 金属は基本的に有価になります。産業廃棄物は処理料金を頂きます。金額については種類、量、形態によって異なります。

⑨ 事業の規模 (全社)

活動規模	単位	年度		
		2014年	2015年	2016年
売上高	百万円	5,108	3,653	3,414
従業員	人	71	66	63
敷地面積	m <sup>2</sup>	35,404	27,986	27,986

## 2. 対象範囲 (認証・登録範囲)

◆対象事業所  
 本社・事務所  
 川崎支店  
 東京都墨田区両国四丁目38番16号  
 神奈川県川崎市川崎区鋼管通5-6-1

◆対象外事業所  
 太田支店  
 日立那珂支店  
 群馬県太田市古戸町1244  
 茨城県那珂市向山1225-2

### 3. 機械の処理能力（中間処理業の能力）

#### 川崎支店

品目	処理機械	処理方法	処理能力
廃プラスチック類	1.250 tギロチンシャー	破砕処理	20t/日
ガラスくず	1.250 tギロチンシャー	破砕処理	90t/日
金属くず	1.250 tギロチンシャー	破砕処理	198t/日
金属くず	オートマチックプレス機	圧縮処理	12.2t/日

#### 4. 関連許認可・許可品目

##### ◆産業廃棄物処分業

都道府県・政令市	許可番号	有効期限	許可品目
川崎市	第5720038805号	H31. 5. 31	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず 以上3種類
群馬県	第01020038805号	H30. 5. 17	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上4種類
茨城県	第0821038805号	H34. 4. 23	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上3種類

##### ◆産業廃棄物収集運搬業

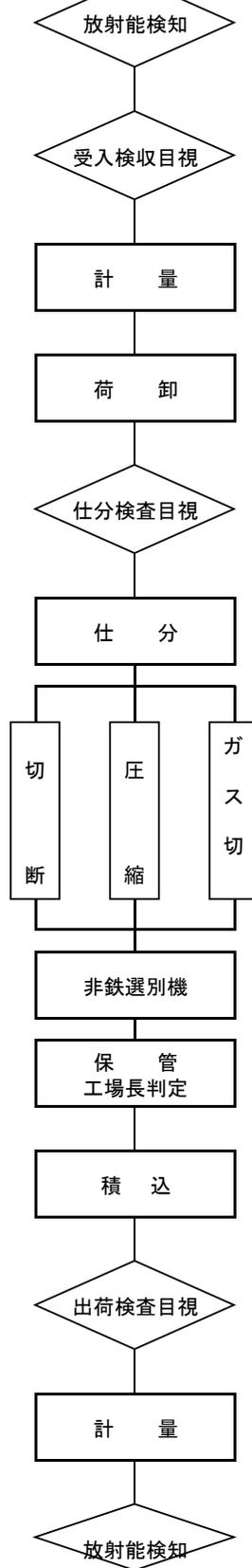
都道府県・政令市	許可番号	有効期限	許可品目
神奈川県	第1402038805号	H33. 4. 2	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず、鋳さい、がれき類 以上9種類
群馬県	第01000038805号	H30. 3. 16	廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類 以上8種類
茨城県	第0801038805号	H34. 5. 21	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上3種類
埼玉県	第01104038805号	H30. 3. 31	廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類 以上8種類
栃木県	第0900038805号	H30. 4. 30	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上4種類
千葉県	第1200038805号	H31. 7. 14	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 以上3種類
東京都	第1300038805号	H34. 3. 31	廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリート・陶磁器くず、がれき類 以上7種類

◆破砕業(自動車リサイクル) 茨城県 第20085002198号 H31. 6. 30

◆古物商  
 神奈川県 第452510500038号  
 群馬県 第421110130000号  
 茨城県 第401050000379号

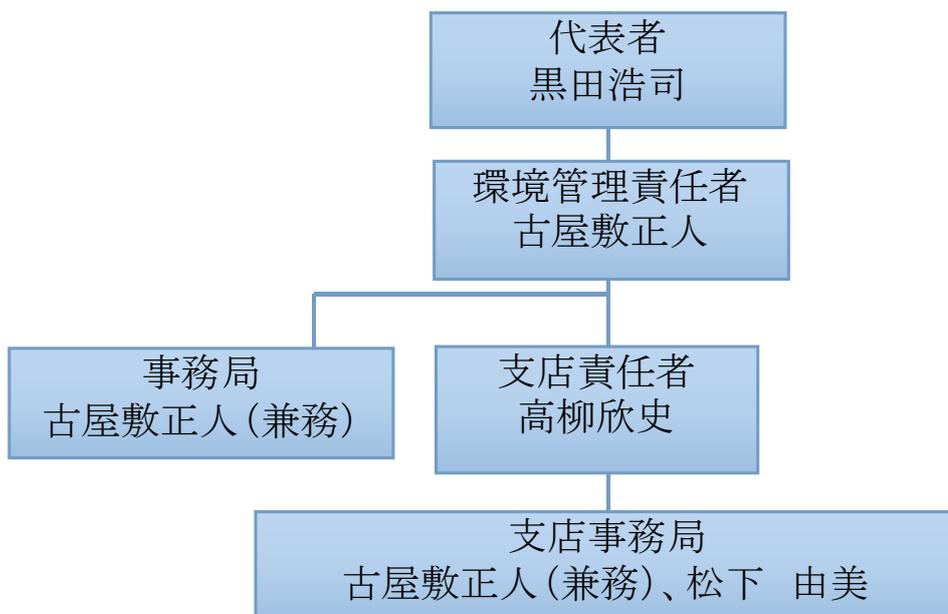
◆第一種フロン類回収業者 茨城県 第12460号 H34. 6. 22

5. 中間処理フロー



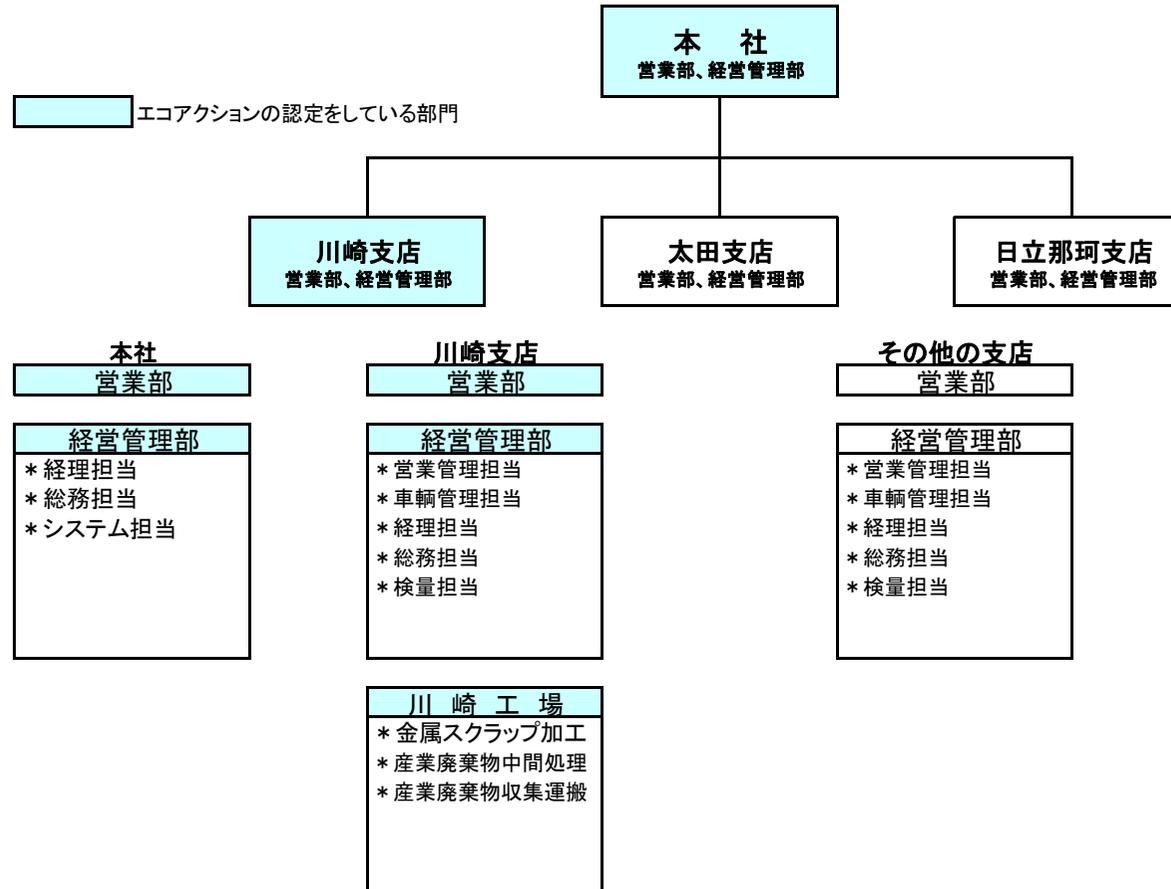
## 6. 実施体制

黒田興業株式会社 エコアクション21組織図



### 役割分担

組織名称	役割、責任
代表者	環境管理責任者の任命 環境方針の決定 環境経営システムの構築・実施及び管理に必要な資源の準備 環境経営システムの定期的見直しの実施 環境目標及び計画の承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築・実施・管理の継続的改善 環境経営システムの代表者への報告 環境目標及び環境活動計画の策定 環境関連文書の記録作成、管理 関連法規の取りまとめ表の維持
事務局 (事務責任者)	環境管理責任者の補佐 環境経営システムに関する事務、記録作成 関連法規の順守状況の確認
本社 営業部員・経営 管理部員	本社における環境経営システム活動に参加 環境目標のための活動(コピー用紙削減、エコドライブ、グリーン購入)を実施する
川崎支店責任者	支店における環境活動の運用 環境目標の実施事項に対する問題点・是正処置を実施 支店における記録の作成と管理
支店事務局 (事務責任者)	環境管理責任者の補佐 環境経営システムに関する事務、記録作成 関連法規の順守状況の確認
川崎支店 営業部員・経営 管理部員 川崎工場従業員	支店の環境経営システム活動に参加する 環境目標のための活動(省電力、産業廃棄物の分別、コピー用紙削減、エコドライブ、グリーン購入)を実施する



## 8.環境方針

### 環 境 方 針

#### ◇ 基本理念

黒田興業株式会社は、事業活動を通じて、資源のリサイクルを進め循環型社会の構築を目指し地球環境保全活動に取り組みます。

#### ◇ 環境方針

1. 環境経営システムを構築・運用します。
2. 環境関連法令を順守し継続的な環境負荷の低減に努めます。
3. 電気・水道使用量の削減、エコドライブ推進により不要なエネルギーを減らし二酸化炭素排出量の削減に努めます。
4. 廃棄物の分別徹底により廃棄物の排出量を削減し再資源化の拡大に努めます。
5. グリーン購入の推進に努めます。

これらの環境方針を実施する為、全従業員に周知徹底します。

平成 26 年 1 月 14 日

黒田興業株式会社

代表取締役 黒、田 浩 司

## 9. 環境目標

当社の2016年度(平成28年4月～平成29年3月)における環境目標を以下に示す

原単位の算定には川崎はヤードの売上数量、本社は全社のヤード売上数量を用いる  
1/2ページ

### ◆サイトの売上数量(ヤード売上)

項目	サイト	単位	2014年
サイト売上数量	川崎支店	t	36,225
	全社	t	109,840

### ◆目標値の設定

原単位で 2014年度比 3%減とする。詳しい値は目標値欄に記載

### ◆本社事務所 二酸化炭素排出量の低減 (ヤードの売上数量辺り)

項目	対象	単位	2014年	2014基準	目標値 3%減
			基準値	原単位	原単位
二酸化炭素排出量削減	本社事務所	kgCO2	4,587	0.0418	0.0405
電気使用量	本社事務所	kwh	8,258	0.0752	0.0729
ガス使用量	本社事務所	m <sup>3</sup>	2	0.0000182	0.0000177

### ◆川崎支店 二酸化炭素排出量の低減

		単位	2014年	2014基準	目標値
			基準値	原単位	原単位
(ヤードの売上数量辺り)					
二酸化炭素排出量削減	川崎工場	kgCO2	488,089	13.474	13.067
電気使用量	川崎工場	kwh	533,430	14.725	14.284
ガス使用量	川崎工場	kg	3,150	0.0869	0.0844
自動車ガソリン使用量	川崎工場	ℓ	6,109	0.169	0.164
トラック軽油使用量	川崎工場	ℓ	22,946	0.633	0.614
重機他軽油使用量	川崎工場	ℓ	41,221	1.138	1.110

### ◆水使用量の低減 (ヤードの売上数量辺り)

		単位	2014年	2014基準	目標値
			基準値	原単位	原単位
水使用量の削減	本社事務所	m <sup>3</sup>	43	0.000391	0.000380
	川崎工場	m <sup>3</sup>	688	0.0190	0.0184

### ◆紙使用量(ヤードの売上数量辺り)

		単位	2014年	2014基準	目標値
			基準値	原単位	原単位
コピー用紙使用量	本社事務所	枚	34,500	0.314	0.305
	川崎工場	枚	27,000	0.745	0.723

## 9. 環境目標

当社の2016年度(平成28年4月～平成29年3月)における環境目標を以下に示す

原単位の算定には川崎はヤードの売上数量、本社は全社のヤード売上数量を用いる

2/2ページ

◆廃棄物の削減(ヤードの売上数量辺り)

			2014年	2014基準	目標値
			基準値	原単位	原単位
産業廃棄物処分量	川崎工場	t	489	0.0135	0.0131
一般廃棄物処分量	本社事務所	ℓ	1,710	0.0156	0.0151
	川崎工場	ℓ	1,305	0.0360	0.0349

◆グリーン購入の推進 グリーン購入は記録活動のみとする

グリーン購入の推進	本社事務所	個	31	-	-
	川崎工場	個	74	-	-

グリーン購入を引き続き推進していきます。

## 10. 環境負荷の実績

### ◆本社

環境への負荷		単位	2014年	2015年	2016年	
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	4,587	4,163	4,520	
受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t				
	中間処理用	t				
	うち再資源化等量	t				
	最終処分量	t				
	中間処理後の産廃の処分量	t				
	中間処理後の産廃の再資源化等量	t				
廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	(事業系一般廃棄物)	t	1,800	1,710	1,530
		)	t			
		最終処分量	t			
	産業廃棄物	(産廃)	t			
		(特別管理)	t			
		最終処分量	t			
総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>	43	35	39	
	下水道	m <sup>3</sup>				
水使用量	上水	m <sup>3</sup>	43	35	39	
	工業用水	m <sup>3</sup>				
	地下水	m <sup>3</sup>				
		m <sup>3</sup>				
エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	81,176	73,725	75,691	
	化石燃料	MJ				
	新エネルギー	MJ				
	その他	MJ				
		MJ				
物質使用量	資源使用量	t				
	循環資源使用量	t				
サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質	t				
	水の利用量	m <sup>3</sup>				

### ◆川崎

環境への負荷		単位	2014年	2015年	2016年	
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub>	497,124	528,181	484,959	
受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	139.89	94.09	98.66	
	中間処理用	t	636.12	790.04	727.77	
	うち再資源化等量	t	584.77	746.95	653.18	
	最終処分量	t	0.00	0.00	0.00	
	中間処理後の産廃の処分量	t	51.35	43.09	74.59	
	中間処理後の産廃の再資源化等量	t	584.77	746.95	727.77	
廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	一般廃棄物	(事業系一般廃棄物)	t	1,305	1,215	1,440
		)	t			
		最終処分量	t	1,305	1,215	1,440
	産業廃棄物	(産廃)	t	489.09	393.28	749.98
		(特別管理)	t			
		最終処分量	t	489.09	393.28	749.98
総排水量	公共用水域	m <sup>3</sup>	688	689	699	
	下水道	m <sup>3</sup>				
水使用量	上水	m <sup>3</sup>	688	689	699	
	工業用水	m <sup>3</sup>				
	地下水	m <sup>3</sup>				
		m <sup>3</sup>				
エネルギー使用量	購入電力(新エネルギーを除く)	MJ	5,414,285	5,837,260	6,157,089	
	化石燃料	MJ	2,810,641	2,923,416	3,269,895	
	新エネルギー	MJ				
	その他	MJ				
		MJ				
物質使用量	資源使用量	t	37,424	39,180	40,132	
	循環資源使用量	t				
サイト内で循環的利用を行っている物質等	利用された物質	t				
	水の利用量	m <sup>3</sup>				

## 11.環境活動計画

作成日 平成28年8月23日

項目	実施内容(手段)	担当者	評価	備考	次年度取組
二酸化炭素排出削減 ギロチンシャー(電力)	負荷を考慮し厚さ5cm以上は掛けないように目視徹底	工場長			
二酸化炭素排出削減 マウントシャー(電力)	負荷を考慮し厚さ5cm以上は掛けないように目視徹底	工場長			
二酸化炭素排出削減 天井クレーン(電力)	目視による重量物の判断。 マグネットで無理なら玉掛け	工場長			
二酸化炭素排出削減 スクラッププレス(電力)	投入物の目視徹底、フィルター清掃	工場長			
二酸化炭素排出削減 油圧ショベル(軽油)	低回転での作業、軽油の使用量管理	工場長			
二酸化炭素排出削減 フォークリフト ショベルローダー(軽油)	急発進、エンジンのふかし禁止 軽油の使用量管理	工場長			
二酸化炭素排出削減 営業車、トラック (ガソリン、軽油)	アイドリングストップ、エコドライブ 車両の点検・整備 ガソリン・軽油の使用量管理 エコドライブ配布資料	営業社員			
二酸化炭素排出削減 事務所	観葉植物の栽培	古屋敷			
二酸化炭素排出削減 事務所(電力)	エアコンの温度管理28℃、裏紙利用促	古屋敷			
廃棄物の削減 分別の徹底 適切な処分	事務所 紙、缶、ペットボトルの分別徹底	古屋敷 支店長代理			
廃棄物の削減 分別の徹底 適切な処分	現場 鉄、非鉄、ダストの分別徹底	工場長			
水使用量の削減 節水	無駄にしないように周知徹底 標語等の表示、洗濯はまとめて行う	古屋敷			
紙使用の削減 コピー用紙の削減	裏紙利用を徹底 印刷ミスをなくすように確認	古屋敷			
グリーン購入の推進	エコマーク等、環境に配慮された製品を積極 購入する	古屋敷			
製鋼原料の品質向上	持ち込まれた金属の分別を徹底する事で 外部にダスト付着物を出さず、 異物引きを抑える	支店長代理			
生活環境の改善 粉塵の飛散防止	定期的に散水、床清掃機で粉塵が舞わないよ う元から断つ	支店長代理			
生活環境の改善 振動、騒音	外壁による音の遮断、5時以降の運転を控える 騒音振動の自主測定による現状把握	古屋敷			
生活環境の改善 廃油雨水の流出	油水分離槽の定期チェック及び、油流出時は 吸着マット等対応	支店長代理			
生活環境の改善 火災爆発事故防止	消火器点検、危険物混入の目視チェック	支店長代理			
生活環境の改善 放射性物質混入防止	L型ゲートモニタで監視、機械が反応した場合 ハンディタイプのメーターで混入物特定。 特定後適切に処理(返品等)	工場長			
環境保全活動の指示	定期的にトレーニング、目的目標の周知 地域住民から苦情のないよう徹底する。	古屋敷 支店長代理			

## 12.環境目標及び目標に対する実績と評価

作成日 平成29年6月1日

(平成28年4月～平成29年3月)

原単位の算定には川崎はヤードの売上数量、本社は全社のヤード売上数量を用いる  
1/2ページ

### ◆サイトの売上数量(ヤード売上)

②環境目標

項目	サイト	単位	2014年	2016年
サイト売上数量	川崎支店	t	36,225	40,132
	全社	t	109,840	109,841

⑥環境目標の達成状況

### ◆目標値の設定

原単位で 2014年度比 3%減とする。詳しい値は目標値欄に記載

※二酸化炭素排出係数

本社 0.587kg・CO2/kWh(平成27年度代替値)

川崎 0.418kg・CO2/kWh(平成27年度調整値)

日本テクノ

### ↓実数値

### ↓原単位

### ◆本社事務所 二酸化炭素排出量の低減(ヤードの売上数量辺り)

項目	対象	単位	2014年	2016年
			基準値	実績値
二酸化炭素排出量削減	本社事務所	kgCO2	4,587	4,520
電気使用量	本社事務所	kwh	8,258	7,700
ガス使用量	本社事務所	m <sup>3</sup>	2	0

2014基準	目標値 3%減	2016実績	増減
原単位	原単位	原単位	
0.0418	0.0405	0.0412	1.61%増
0.0752	0.0729	0.0701	3.84%減
0.0000182	0.0000177	0.0000000	減

電気の使用量は減りましたが、今年度は増加でした。排出係数の違いが増加の要因であると考えられます。

### ◆川崎支店 二酸化炭素排出量の低減

(ヤードの売上数量辺り)

		単位	2014年	2016年
			基準値	実績値
二酸化炭素排出量削減	川崎工場	kgCO2	488,089	484,959
電気使用量	川崎工場	kwh	533,430	626,357
ガス使用量	川崎工場	kg	3,150	2,870
自動車ガソリン使用量	川崎工場	ℓ	6,109	3,939
トラック軽油使用量	川崎工場	ℓ	22,946	34,831
重機他軽油使用量	川崎工場	ℓ	41,221	43,429

2014基準	目標値	2016実績	増減
原単位	原単位	原単位	
13.474	13.067	12.084	7.52%減
14.725	14.284	15.533	8.74%増
0.0869	0.0844	0.0715	15.28%減
0.169	0.164	0.098	40.15%減
0.633	0.614	0.868	41.37%増
1.138	1.110	1.083	2.40%減

電気、トラック軽油は使用料が実績値より増えてきています。それに伴う数量でカバーできなかったのは作業重視で効率性の重視が増加の要因ではないかと考えます。

### ◆水使用量の低減(ヤードの売上数量辺り)

		単位	2014年	2016年
			基準値	実績値
水使用量の削減	本社事務所	m <sup>3</sup>	43	39
	川崎工場	m <sup>3</sup>	688	699

2014基準	目標値	2016実績	増減
原単位	原単位	原単位	
0.000391	0.000380	0.000360	5.26%減
0.0190	0.0184	0.0174	5.33%減

目標を達成できました。

### ◆紙使用量(ヤードの売上数量辺り)

		単位	2014年	2016年
			基準値	実績値
コピー用紙使用量	本社事務所	枚	34,500	38,500
	川崎工場	枚	27,000	27,000

2014基準	目標値	2016実績	増減
原単位	原単位	原単位	
0.314	0.305	0.351	15.08%増
0.745	0.723	0.673	6.92%減

本社コピー用紙が増加とありますが、昨年実績0.373である為、若干の改善は見られました。裏紙の分別を引き続き取り組んでいき

## 12.環境目標及び目標に対する実績と評価

作成日 平成29年6月1日

(平成28年4月～平成29年3月)

原単位の算定には川崎はヤードの売上数量、本社は全社のヤード売上数量を用いる

2/2ページ

### ◆廃棄物の削減(ヤードの売上数量辺り)

			2014年	2016年	2014基準	目標値	2016実績	
			基準値	実績値	原単位	原単位	原単位	結果
産業廃棄物処分量	川崎工場	t	489	750	0.0135	0.0131	0.0187	42.75%増
	本社事務所	ℓ	1,710	1,575	0.0156	0.0151	0.0143	5.30%減
一般廃棄物処分量	川崎工場	ℓ	1,305	1,440	0.0360	0.0349	0.0359	2.87%増

産業廃棄物増加は付き物の多い廃棄物が多く入ってきてる事が原因と思われます。

一過性である事もあるので引き続き様子を見て継続していきます。

### ◆グリーン購入の推進 グリーン購入は記録活動のみとする

グリーン購入の推進	本社事務所	個	31	41	-	-	-
	川崎工場	個	74	70	-	-	-

グリーン購入を引き続き推進していきます。

13.環境活動の評価及び次年度の取組内容(環境活動計画見直し)

作成日 平成29年6月1日

項目	実施内容(手段)	担当者	評価	備考	次年度取組
二酸化炭素排出削減 ギロチンシャー(電力)	負荷を考慮し厚さ5cm以上は掛けないように目視徹底	工場長	△	目視点検は行っても実績と目標値が乖離しているようなので目標値を見直したい 取組は継続	継続
二酸化炭素排出削減 マウントシャー(電力)	負荷を考慮し厚さ5cm以上は掛けないように目視徹底	工場長	△	目視点検は行っても実績と目標値が乖離しているようなので目標値を見直したい 取組は継続	継続
二酸化炭素排出削減 天井クレーン(電力)	目視による重量物の判断。 マグネットで無理なら玉掛け	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 スクラッププレス(電力)	投入物の目視徹底、フィルター清掃	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 油圧ショベル(軽油)	低回転での作業、軽油の使用量管理	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 フォークリフト ショベルローダー(軽油)	急発進、エンジンのふかし禁止 軽油の使用量管理	工場長	○	徹底管理できている	継続
二酸化炭素排出削減 営業車、トラック (ガソリン、軽油)	アイドリングストップ、エコドライブ 車両の点検・整備 ガソリン・軽油の使用量管理 エコドライブ配布資料	営業社員	○	実施されています。	継続
二酸化炭素排出削減 事務所	観葉植物の栽培	古屋敷	○	順調に生育している	継続
二酸化炭素排出削減 事務所(電力)	エアコンの温度管理28℃、裏紙利用促	古屋敷	△	設定温度は見直す必要がある	継続
廃棄物の削減 分別の徹底 適切な処分	事務所 紙、缶、ペットボトルの分別徹底	古屋敷 支店長代理	○	実施されています。	継続
廃棄物の削減 分別の徹底 適切な処分	現場 鉄、非鉄、ダストの分別徹底	工場長	△	産廃量が多いので一過性のものか 継続確認が必要	継続
水使用量の削減 節水	無駄にしないように周知徹底 標語等の表示、洗濯はまとめて行う	古屋敷	○	実施されています。	継続
紙使用の削減 コピー用紙の削減	裏紙利用を徹底 印刷ミスをなくすように確認	古屋敷	△	裏紙の整理が滞り、新しい用紙を 多く使ってしまった。	継続
グリーン購入の推進	エコマーク等、環境に配慮された製品を積極 購入する	古屋敷	○	実施されています。	継続
製鋼原料の品質向上	持ち込まれた金属の分別を徹底する事で 外部にダスト付着物を出さず、 異物引きを抑える	支店長代理	○	実施されています。	継続
生活環境の改善 粉塵の飛散防止	定期的に散水、床清掃機で粉塵が舞わないよ う元から断つ	支店長代理	○	実施されています	継続
生活環境の改善 振動、騒音	外壁による音の遮断、5時以降の運転を控える 騒音振動の自主測定による現状把握	古屋敷	○	平成28年11月18日実施 問題なし	継続
生活環境の改善 廃油雨水の流出	油水分離槽の定期チェック及び、油流出時は 吸着マット等対応	支店長代理	○	実施されています。	継続
生活環境の改善 火災爆発事故防止	消火器点検、危険物混入の目視チェック	支店長代理	○	H28年9月27日、H29年3月10日実 施 問題なし	継続
生活環境の改善 放射性物質混入防止	L型ゲートモニタで監視、機械が反応した場合 ハンディタイプのメーターで混入物特定。 特定後適切に処理(返品等)	工場長	○	実施されています。	継続
環境保全活動の指示	定期的にトレーニング、目的目標の周知 地域住民から苦情のないよう徹底する。	古屋敷 支店長代理	△	苦情等はありませんでしたが 従業員への周知が足りない部分があ る	継続

化学物質の取扱い無し

## 14. 環境関連法規等取りまとめ 順守状況の確認及び違反等の有無

当社に適用となる環境関連法規を以下にとりまとめます。  
 関連法規に違反がないよう定期的に順守状況をチェックします。

作成日:2017/6/1  
 作成社:古屋敷正人

### 頻度高いもの

名称	要求事項	実施方法	チェック者	遵守
フロン排出抑制法	回収基準に従い回収する	ガイドラインの手順通り実施	支店長代理	都度
	フロン回収工程管理表の利用	ガイドラインの手順通り実施	工場長	都度
	回収実績の報告	報告書確認	支店長代理	-
	3か月ごとの簡易点検の実施	点検記録確認	工場長	点検表
水質汚濁防止法	油の漏洩の防止	油対応手順	工場長	点検表
浄化槽法	年1回の保守点検及び清掃 2か月点検の実施	点検表確認	工場長	点検表
グリーン購入法	事業者の環境物品等の取組	グリーン購入記録で確認	支店長代理	点検表
廃棄物処理法	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	提出の確認 毎年6月頃	支店長代理	提出済
川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例施行規則	騒音規制値 測定義務はないが自主的に測定	騒音振動測定記録表	環境管理責任者	H29.2.15
	振動規制値 測定義務はないが自主的に測定	騒音振動測定記録表	環境管理責任者	H29.2.15
小型家電リサイクル法	第7条 事業者は、その事業活動に伴って生じた使用済小型電子機器等を排出する場合には、当該使用済小型電子機器等を分別して排出し、第十条第三項の認定を受けた者その他使用済小型電子機器等の収集若しくは運搬又は再資源化を適正に実施し得る者に引き渡すよう努めなければならない	受入れ時の確認徹底	支店長代理	都度確認
電気事業法	電気事業法第42条第1項に規定する保安規程の遵守義務 保安規定に則り定期点検を実施する	業者の実施結果を保管する	工場長	点検表
川崎市規則 危険物の規制に関する細則第15条	危険物施設を休止、再開する場合に7日前に届出が必要	現在休止中 2023年8月22日 再開の判断	支店長代理 工場長 環境管理責任者	日付の確認

#### 14. 環境関連法規等取りまとめ 順守状況の確認及び違反等の有無

当社に適用となる環境関連法規を以下にとりまとめます。  
 関連法規に違反がないよう定期的に順守状況をチェックします。

作成日:2017/6/1  
 作成社:古屋敷正人

##### 頻度低いもの

名称	要求事項	実施方法	チェック者	遵守
古物営業法	第7条第1項 役員の変更 第7条第4項 許可証書換 役員の変更の際、14日以内に届出 履歴事項全部証明 住民票必要	届出	環境管理 責任者	順守確認
自動車NOx・PM法	八都県を走行するときにNOx・PMに係る適合 車で走行する	車検証にて確認	環境管理 責任者	順守確認
廃棄物処理法	廃棄物は自らの責任で適正に処理する	案件毎の マニフェスト表確 認	支店長代理	順守確認
	廃棄物の委託基準等を順守する	許可の状況確認	支店長代理	順守確認
	保管場所に掲示板(60cmx60cm)を設置	設置状況の目視	支店長代理	順守確認
	委託先の許可証の確認	契約の都度確認	支店長代理	順守確認
	委託契約書の締結	契約の都度	支店長代理	順守確認
	廃棄物管理表(マニフェスト)の交付・保管・戻り 状況、保管状況の確認	案件毎の マニフェスト表確 認	支店長代理	順守確認
	産業廃棄物保管場所の確認 積上げ高さ確認	定期的に確認	支店長代理	順守確認
	産業廃棄物 収集運搬業、処分業 許可期限確認	許認可確認表 にて随時確認	支店長代理	順守確認
	野焼き禁止、不法投棄の禁止	定期的な教育	支店長代理	順守確認
自動車リサイクル法	使用済自動車の再資源化促進	都度確認	支店長代理	順守確認

関係関連機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

## 15. 代表者による全体評価と見直し

実施日：平成29年6月8日

評価者：代表取締役 黒田浩司

項目	報告内容	代表者の評価コメント
環境方針	環境方針より 見直しの必要性	変更はしない
実施体制	実施体制より 見直しの必要性	今後拡大していく上で順次見直し変更があれば実施する
環境目標	環境目標・実績より 結果の報告	目標値を達成できない項目について基準を2014年に設定したがその変更も検討し実施する
環境活動計画	環境活動計画の内容より 内容報告	概ね変更はないが、 適宜よいアイデアがあれば追加を検討する
環境法規	環境関連法規等の順守状況の確認及び違反等の有無より 結果の報告	最新の情報を入手するように常に自治体のHPや講習会等利用するように。
その他	特になし	—

2016年度の結果が出ました。

CO2排出量に関しては結果は下がった形になりました。

しかしながら電力の部分では未達に終わった為目標値の見直しに来てると考えます。既に2017年度はスタートしていますが損益だけでなく環境活動にも力を入れていきましょう。